

瑞浪市のまちづくり 〈現状・課題〉

「担い手不足」の何が問題か

- ⇒ 地域活動の縮小
- ⇒ 地域のつながりの希薄化
- ⇒ コミュニケーションが取れない 災害時の助け合いができない
- まちの住みやすさや魅力の低下 人口の流出 関係人口の減少



担い手不足の解消は、単なるまちづくり活動の継続だけでなく
地域の魅力を向上させ、住み続けたいまち、さらには移住したいまちの実現につながる

担い手不足の原因

- ◆ 役の負担が大きい (1人多役・長年)
⇒ 仕事との両立が困難
- ◆ 当て職が多く、やらされている感覚
- ◆ 人が減っても行事は残ったまま
- ◆ 組織の部会制 (決まったことしかできない可能性)
- ◆ 問題について話し合いができていない可能性
- ◆ どんな活動をしているのかわからない (情報発信不足)



課題解決のために

組織・役割は異なるが
課題は共通

自治会・まちづくり組織

- 実情や地域に合った運営
- 興味があることや好きなことで、
楽しんでまちづくりに参加できる体制作り
- 担い手の発掘
- 若い世代の活躍や新しい試みの周知

自力解決は困難

瑞浪市

- 伴走支援
- 話し合いの促進
- 当て職の把握・削減
- 交付金制度の見直し
- 市全体の活性化支援(マッチング・PR)

まちづくり参加のハードルを下げ、負担なく、楽しんで参加できる体制へ

瑞浪市まちづくりアップデート事業

1. 瑞浪市のまちづくりを担う2つの組織の内部改革
2. 瑞浪市側の改革
3. 趣味をまちづくりにつなげるシステムの構築

1. 瑞浪市のまちづくりを担う2つの組織の内部改革

〈現在の組織の問題点〉

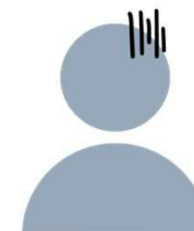
自治会

区長は1年での交代が多い
⇒変革をしにくい

まちづくり推進協議会

部会制(決まったことしかできない可能性)
活動がマンネリ化する可能性

新しい意見が取り入れられない可能性
話し合いをするノウハウや時間がない可能性



1. 瑞浪市のまちづくりを担う2つの組織の内部改革

〈具体的な実施内容〉

◆ ファシリテーターを入れた話し合いの促進(希望地区に向けて)

自浄作用のみに期待しての自己解決は難しい
話し合いを簡潔に進める存在が必要不可欠！

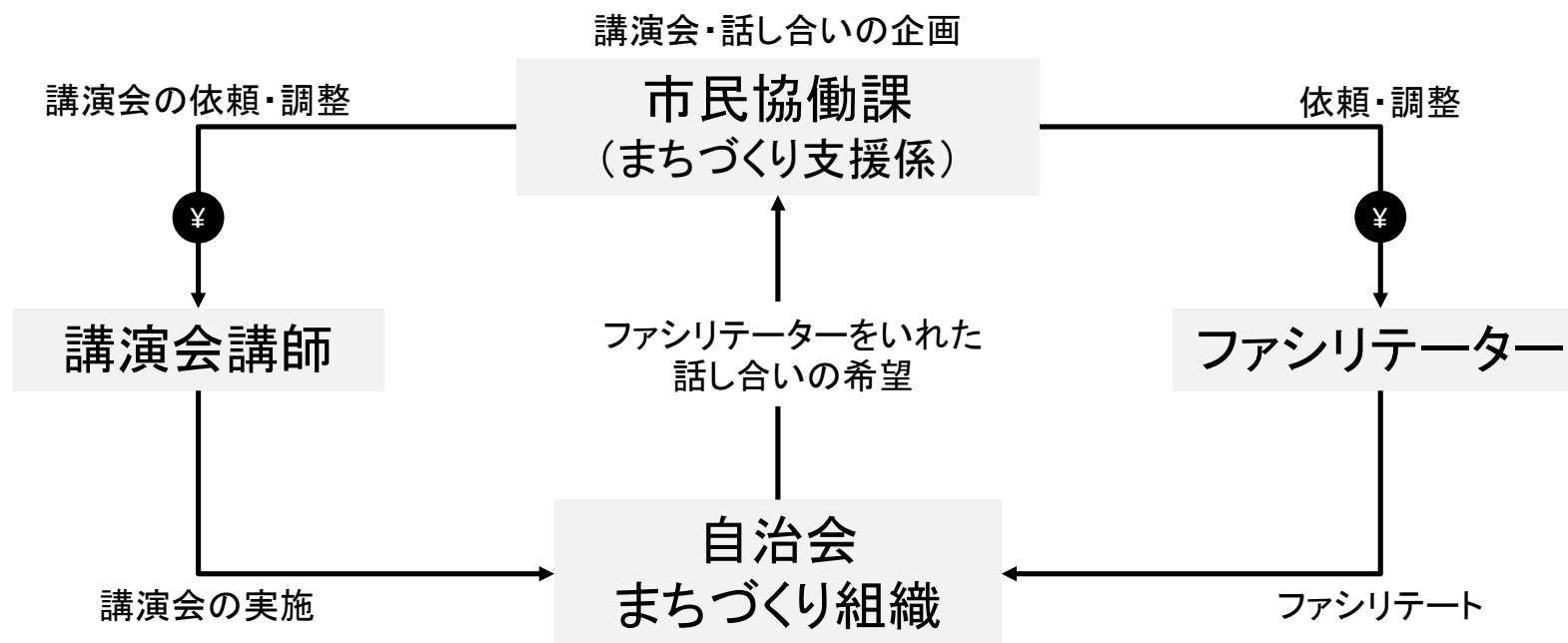
- ・地域外の第三者
- ・瑞浪市の実情をある程度理解

⇒ 令和5年度地域計画策定の際にファシリテーター
を務めていただいた方に協力依頼をするなど工夫

- ⇒ 時代に合わせた活動の取捨選択
- ⇒ 部会制の再検討など、地域の実情に合った組織体制そのものの見直し
- ⇒ 意見を気兼ねなく言え、住みやすさにもつながる魅力的な組織へ

1. 瑞浪市のまちづくりを担う2つの組織の内部改革

〈事業イメージ〉



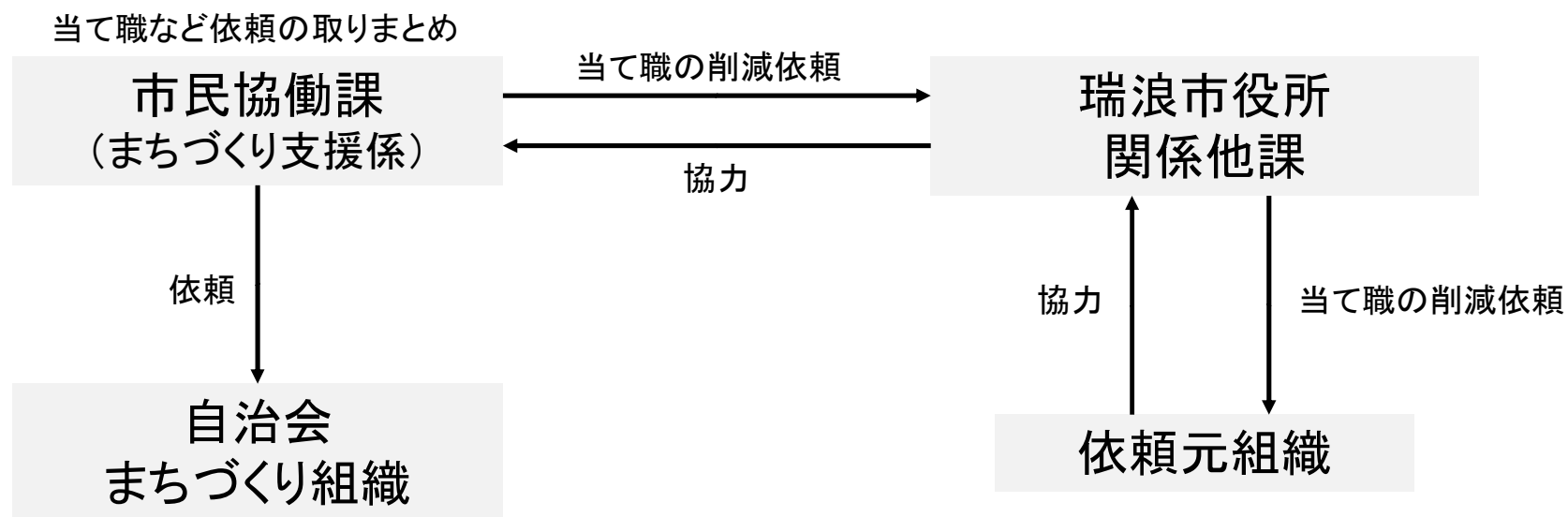
2. 瑞浪市側の改革

〈具体的な実施内容〉

- ◆ 当て職など、市からの依頼事項の把握・削減
 - ◆ 交付金制度の見直し(瑞浪市夢づくり地域交付金・瑞浪市市政協力事業交付金)
 - ◆ 市民協働課職員が地域に入り、これまで以上に地域に根差した伴走支援を実施
-
- ⇒ 市からの負担は限りなく少なく
 - ⇒ 新しい組織が使いやすい交付金制度へ
 - ⇒ 共に悩み、共に歩む市の窓口へ

2. 瑞浪市側の改革

〈事業イメージ〉



3. 趣味をまちづくりにつなげるシステムの構築

〈まちづくりに対するイメージ〉

「大変」「何をやっているかわからない」「仕事で時間がない」

⇒ 他人事・参加のハードルが高い



趣味や好きなことなど普段から興味があることを
入り口にすることでまちづくり参加のハードルを下げる

「あなたの好きを地域の好きにしてみませんか」

3. 趣味をまちづくりにつなげるシステムの構築

〈システムの構築に必要なもの〉

- ① 市民の方の趣味や好きなことの情報
- ② まちづくりの活動内容や必要な人材の情報
- ③ ①②をマッチングさせる仕組み

①は市としての情報収集が難しい...

 市民の方が自ら手軽に登録できるアプリ等

瑞浪市まちづくりアップデート事業(まとめ)



やりたい人がやりたいことを楽しんでできる、明るいまちづくりへ